

普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)12月12日
所属名:高島農産普及課
番号:H25026
発信者名:大崎



生産者・関係機関全員で「みおしずく」の品質向上へ！

11月28日に、高島市でイチゴ「みおしずく」を栽培する生産者を対象に市場出荷規格の目合わせ会を実施しました。今年度の生産者全6戸・8名に加え、JAレーク滋賀と高島市役所からの出席もあり、計11名が参加しました。

この研修会では、当課より定植からこれまでの振り返りと、厳寒期に重要となる栽培管理ポイントを共有しました。特に、高島市では11月から厳しい寒さを迎えるため、ハウスの温度管理について重点的に説明しました。続いて、JAレーク滋賀から集荷場の利用方法や出荷手順について説明され、当課からは市場の出荷規格について解説しました。最後には、生産者が持ち寄ったイチゴを用いて、形や色合いの目合わせを実施しました。出荷経験者が新規生産者へパックの詰め方やコツ、出荷の流れをアドバイスする場面も見られ、参加者全員が「品質の良いイチゴを出荷しよう」という前向きな姿勢を共有できる機会となりました。

高島市の「みおしずく」の出荷は12月1日から始まり、クリスマスに向けて本格化していきます。新規生産者の方にも安心して市場へ出荷してもらえるよう、引き続き関係機関と連携してサポートを行っていきます。

